

故 中村 實元会長(日本放射線技師会)の「お別れ会」に参列して

上前 忠幸 (会員番号 4 番)

平成 28 年 9 月 2 日 (金)、鈴鹿医療科学大学白子キャンパスにて故 中村 實 儀 (元日本放射線技師会会長) の「お別れ会」に日本診療放射線技師会 (以下 JART という) 役員 OB として参列しました。白子キャンパス講堂において、多くの参列者に見守られ執り行われました。



中村 實 元会長は、昭和 43 年から平成 14 年総会まで 34 年間診療放射線技師を成長させた偉大なる会長でした。私は、平成 4 年～平成 14 年の 10 年間常務理事としてお世話になりました。昭和 43 年といえば、私が徳島大学の技師学校に入学した年で、放射線技師への第一歩を踏み入れた年です。診療放射線技師制度は、昭和 40 年から「放射線技師制度要項案」改正に向けて、国会議員と厚生省で意見が合わず足踏みしている状況でしたが、昭和 43 年に成立した年に JART の会長に就任しました。この頃の苦労話 (執行部のこと・国会議員のこと) をよく話されました。「放射線技師制度要項案」を作成することも重要だが、法改正成立後、JART がどういう方法で実施していくかという方法論 (日本医師会の武見会長、国会議員に相談されたこと等) を常務理事会後の食事会で話してくださいました。

紙面をお借りして、中村会長と上前のことを記させていただきます。常務理事就任前に中村会長との面接がありました。中村会長との面接には緊張しましたが、「札幌学術大会 (1991 年) でシンポジスト、ご苦労さまでした」と言われ、北里大学病院では、どういう研究をしているのかと質問されました。私は、日本病院協会で発表 (1983 年) したオートカセットにカセットテープではなくマイクロチップで音声を発する装置を内蔵して撮影スイッチと連動させ、装置本体から呼吸の指示、聴覚に障害のある方には、プレートで「息を吸って止めて下さい」と表示する装置を発表したことを説明しました。また、暗室業務をデイトライトシステム化の導入時、フィルムにデジタル時計をカメラで写し、現像時間を焼き付けた発表 (1986 年) についても熱心に聞いてくださいました。中村会長から「学会発表は、誰もがやっていることを学術的に発表するところです。JART の常務理事を受けて頂きたい」と言っていたとき、その日の常務理事会で紹介して下さい JART の常務理事一年生になりました。

私の面接日に、北里大学 (学校法人北里研究所) から、医療衛生学部にて診療放射線技術科設置につき JART (職能団体) に設置伺い書 (?) が来ていて、早急に学科増設賛成の返事を出すから、そう伝えて下さいと言って下さったことを覚えています。

私が中村会長に認めて頂いたのは、平成 6 年 (1994 年) 画像診断機器の保守点検業務検討委員会のメンバーになった時からと思っています。よく会長指導 (叱られた) を受けた委員会は、『学術委員会』と思います。技師教育に力を入れていた証だと思います。常務理事会前に会長室で議案の提案事項の説明をしますが、雷が落ちました。「放射線関連機器責任者の認定制度」を提案したとき『診療放射線技師免許は、国家試験であるのに JART が認定する。君らは何を考えているのだ! 放射線技師は器械を相手に仕事をしているのか、患者さんのために仕事をしているのだ。診療の意味が解っていない!』常務理事会終了後、会長の考えを聞き、次の常務理事会までに具体案を入れた提案を再提出するように指示されます。学術委員は、教育センター (鈴鹿市) のセミナーを担当していました。開講式前に鈴鹿医療科学大学理事長室に行き、開講式の「あいさつ」を中村会長に依頼する仕事がありました。常務理事会で雷が落ちた後は、理事長室に行く足が重かったことはご想像の通りです。「放射線関連機器責任者の認定制度」については、数回理事長室で説明しました。3 回目の理事長室での説明は、約 3 時間頂きました。

その間、訪問者 (三重県医師会長、大学教授が来られ

でも「東京から常務理事が来て重要な案件を話しているの、午後に来て戴くよう説明してください」と秘書に指示した時は、認定制度は大きく前進したと確信しました。中村会長は、全国ブロックの野球大会を大学のグラウンドで開催してくださいました。グラント整備には、トラック数台で良質の土を運び、選手が怪我しないよう手配してくださいました。

学術委員の仕事は、統一講習会等で開催県に行き、開講式と閉校式の挨拶、都道府県技師会活動状況を把握してくる役割がありました。

中村会長からは、ご教授頂いた事はたくさんありました。「企画したものは、責任もって成功させること。成功させるには、参加者第一であることを忘れないこと」指導者の在り方を勉強させて戴きました。私の財産です。

鈴鹿医療科学大学が 25 周年を迎えました。近況報告します。

2016 年度の入試結果は表の通り（552 名）です。



白子キャンパス

平成 25 年度 5 月 1 日現在の在籍数は、2,635 名でした。

また、JART の旧教育センターは、JART 記念館になっております。

学部	学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	
保健衛生学部	放射線技術科学科	100	638	252	112	
	医療栄養学科	管理栄養コース	40	154	86	31
		臨床検査コース	40	334	102	52
	理学療法学科	40	251	76	41	
	医療福祉学科	医療福祉コース	30	57	46	17
		臨床心理コース	30	71	60	21
	鍼灸学科	30	52	44	22	
保健衛生学部 計		310	1557	666	296	
医用工学部	臨床工学科	40	264	119	48	
	医用情報工学科	30	69	53	22	
	医用工学部 計	70	333	172	70	
薬学部	薬学科	100	474	260	98	
	薬学部 計	100	474	260	98	
看護学部	看護学科	80	523	208	88	
	看護学部 計	80	523	208	88	
全学部・全学科合計		560	2887	1306	552	

(※鈴鹿医療科学大学ホームページより図表3枚使用)



千代崎キャンパス

平成 3 年 鈴鹿医療科学技術大学第一期生入学。昨年、鈴鹿医療科学大学が 25 周年を迎え、保健衛生学部(放射線技術学科、医療栄養学科、医療福祉学科、理学診療学科)、薬学部、看護学部、大学院があり設立当時の放射線技術の大学から将来の医療を見据えた次代を担う高度医療従事者要請のための医療大学になりました。